

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年10月27日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 お待たせいたしました。ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をまずさせていただきます。

まず、1ページ目、2.、10月27日金曜日、本日でございますが、(1)の審査会合が開催されております。こちらにつきましては、議題として「中国電力」と記載しておりますが、島根原子力発電所の審査を行っているところでございます。内容といたしましては、内陸地殻内地震の評価について議論をするという予定となっております。

続きまして、2ページ目上段でございます。10月31日火曜日、(3)の審査会合がございます。こちらにつきましては、大規模損壊等に係る審査でありますため、非公開で開催をさせていただきます。内容としては、日本原電・東海第二原子力発電所についての審査を予定してございます。

続きまして、中段、11月1日水曜日、(5)にございます第2回原子炉安全専門審査会原子炉火山部会合が開催されます。こちらにつきましては、議題は2点ございます。

まず、議題の1では、発電用原子炉設置者、具体的には九州電力でございますが、そちらが昨年度行いました火山モニタリングの結果につきまして、その評価について議論を行います。

また、議題2といたしまして、仮に火山活動に係る変動が生じた場合に、原子炉の停止等を求めるということとなっておりますけれども、どのような場合にそうした判断を行うのか、その判断の目安について、前回の会合に引き続き議論を行っていくという予定となっております。

続きまして、同じく2ページ目下段、11月2日木曜日、(7)の会合でございます。第27回廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する検討チームの会合が開催されます。議題は、第二種廃棄物埋設に係る規制基準等の整備に向けた検討についてということでございます。内容は大きく2点ございます。

まず、1点目といたしまして、中深度処分に係る規制基準等の骨子及び関連するガイドの骨子の案についてお示しして、議論を行うということを予定しております。

また、2点目といたしまして、前回の会合に引き続きまして、改正法に基づきまして原

子炉等規制法のもとでRI廃棄物の埋設が行われるということになりますが、それに関する基準等に関して方針を説明し、議論を行うということを予定しているところでございます。

私からは以上でございます。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから御質問の方をお願いいたします。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

本日16時からの神戸製鋼との面談についてですが、今分かっている範囲で、どんなことをされるのか、聞くのか、教えてください。

○大熊総務課長 今、お話がございましたが、本日夜刻に神戸製鋼からお話を聞くという予定になっております。神戸製鋼からは、一昨日25日に、こちらからの要請に基づきまして、一連のデータに関する不正の問題についての対応状況について説明を求めたところでございますが、これに関連しまして、昨日公表されました日本原燃における問題というものがございますが、我々が聞いていた話と一致していないということもございました。そうしたことを踏まえまして、この間の経緯、また、日本原燃で見つかったという不正の問題についての内容について説明を求めるということで、本日、面談をセットしているところでございます。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 御質問のある方。どうぞ。

○記者 読売新聞のタケウチです。

引き続き神戸製鋼の問題なのですけれども、前回の面談録を見ると、神戸製鋼側は、福島第二発電所以外、原子力関係では把握していないという説明を25日の夕方段階でしているようですが、昨日の日本原燃の不正に関してはやはり同じ日に報告しているということで、ある意味、虚偽報告ではないかと思うのですが、この辺、規制庁としてはどのようにお考えでしょうか。

○大熊総務課長 今、御指摘がございましたように、25日夜刻に私どもが神戸製鋼側からお聞きした説明ということと、それから、日本原燃が神戸製鋼から聞いた説明ということが一致していないと認識をしております。この不一致については、私どもとして問題であると考えておまして、したがって、その点についての説明を本日求めるということにしているところでございます。

○記者 分かりました。ありがとうございました。

○司会 御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。アベさん。

○記者 日経新聞のアベです。

ちょっと話は変わって柏崎刈羽原発の関係なのですけれども、昨日、新潟県からパブリックコメントで規制側に話があったようです。内容が、現地で規制庁の方に審査について説明してもらいたいといった内容が含まれているようなのですけれども、それについて規制委員会としてどういうふうに対応していくかというような検討は今されているのかということ、どういった対応が考えられるかということをお教えください。

○大熊総務課長 今御質問があったのは、パブリックコメントとして新潟県から御提出いただいているという件を中心に御質問があったということかと思えますけれども、パブリックコメントそのものについては、頂いた御意見という形で対応を通常どおりいたします。また、それと並行しまして、そうした御要望があるということだろうと思っておりますので、御要望があれば必要な対応を、具体的な対応は、今後、そのタイミングに向けてということになりますけれども、必要な現地での説明等の対応というものを考えて対応していきたいと考えているところでございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞、ヒガシヤマです。

来週1日の火山部会の会合ですけれども、これは第1回が1年前、年1回開くやつでしたか。たしか前のときは川内原発でのモニタリング結果というか、九州の火山のモニタリング結果だったように記憶しているのですけれども、今回は何か対象となる火山が増えたりするのでしょうか。

○大熊総務課長 こちらは、今お話がありましたように、前回は昨年、やはり秋でございまして、川内原子力発電所が稼働しているということで、九州電力がその地域に関連するところのモニタリング、様々な測定を行っている。それについての結果を九州電力として公表しており、その内容について、私どもとして評価を行うために議論をするということで、その点、それから、もう一点もですが、昨年と基本的には同様の趣旨の会議と御理解いただければと思います。

○記者 今年は四電も関電も報告するみたいなことはないのですか。

○大熊総務課長 今年も火山のモニタリングについては、九州電力の件であると承知をしております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。